

**製品名: LC3A ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21516**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:14kD;Observed MW:16kD

**抗原情報**

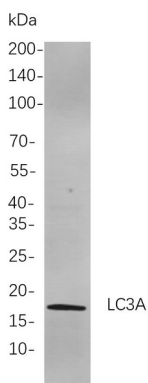
遺伝子名	MAP1LC3A
別名	Microtubule-associated proteins 1A/1B light chain 3A;Autophagy-related protein LC3 A;Autophagy-related ubiquitin-like modifier LC3 A;MAP1 light chain 3-like protein 1;MAP1A/MAP1B light chain 3 A;MAP1A/MAP1B LC3 A;Microtubule-associated protein 1 light chain 3 alpha;
遺伝子 ID	84557.0
SwissProt ID	Q9H492
免疫原	ヒト MAP1LC3A の合成ペプチド

## 背景

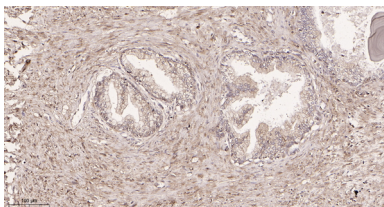
細胞局在: 細胞質。MAP1A および MAP1B は、微小管と細胞骨格構成成分との物理的相互作用を媒介する微小管関連タンパク質です。MAP1A および MAP1B はそれぞれ、重鎖サブユニットと複数の軽鎖サブユニットで構成されています。この遺伝子によってコードされるタンパク質は軽鎖サブユニットの1つであり、MAP1A または MAP1B のいずれかと会合することができます。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする2つの転写バリエーションが見つっています。バリエーション1の発現は多くの腫瘍細胞株で抑制されており、発癌に関与している可能性が示唆されています。[RefSeq 提供、2012年2月]

## 研究分野

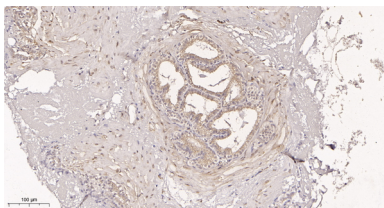
## 画像データ



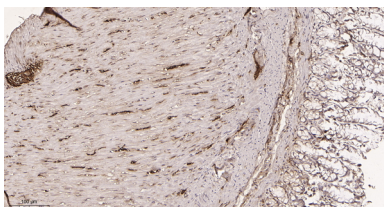
LC3A ウサギ mAb を用いたマウス脳細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。



パラフィン包埋ヒト前立腺組織の免疫組織化学分析。1、LC3A ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。



パラフィン包埋マウス前立腺組織の免疫組織化学分析。1、LC3A ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、抗体賦活化には EDTA pH 9.0 を使用 (>98°C、20分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。



パラフィン包埋ラット結腸組織の免疫組織化学分析。1、LC3A ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。